

9

2019
Sept.

轉て 敬ん 敷ぎ よ う

信のとびら

お看經の調和

9月のご奉公のすすめ

9月のお寺の行事予定

7月のご奉公日誌

令和・夏のご奉公

男性信徒同志寺院交流お助行-聞信寺

今年度のご奉公テーマ「助行のすすめ」

お助行に感謝 根緒泉溪師

私のよるこび

信心と仕事の両立を目指して

生後二ヶ月の手術

後続者育成活動報告

こどもたちの会

佛立本旨講の信心1



佛立本旨講妙應寺

お看経の調和

お題目の唱え方とお拍子木の打ち方についての御指南を拝見します。

「南無妙法蓮華経の文字に心を止めて声をはりあげ唱へて我声わがこえを我耳わがみみに聞くやうに唱ふべし。外の音障さわりにならぬやう、太鼓拍子木たいこひょうしぎは尤もつとも弄引もろういんとなる也。所詮しよせん、願成就がんじょうじゆには一心いっしんにならでは叶ふべからず」(扇全27巻190頁)。

「太鼓三挺、拍子木十挺、お題目の梵音声ぼんおんしやうつぶれたり。騒さわがしきが信心と思ふべからず。又法体ほつたいの折伏せつぷくは殊勝しゆしやうなるが宜よろし」(扇全13巻263頁)。

このようにご指南下されています。

①まず「法体の折伏は殊勝なる

が宜し」。この法体の折伏とはお看経のことです。お題目口唱の声は人の耳に聞こえて折伏の働きをします。殊勝とは、はたで聞いていて魅力のあるお看経ということですから、そうすると、人を随喜させ引きつけるようなお看経があげられるわけです。

②またお看経中は、「南無妙法蓮華経の文字に心を止めて」とありますから、目をつぶってはいけません。御本尊を

しっかりと見つけてお看経することです。そのためには、背筋を伸ばし姿勢を正しくしてお題目口唱を心がけることが大切です。

③口は「声をはりあげ唱へて」とありますが、これは怒鳴ることではありません。普通に話をするよりも高めに、しっかりと口調で唱えるということです。

④次は「我声を我耳に聞くやうに唱ふべし。所詮しよせん、願成就がんじょうじゆには一心いっしんにならでは叶ふべからず」で、自分の口唱の声を耳で聞くようにするのです。お看経の始る時は、まだ種々雑念が頭の中にあります。こ

れを払い除けて一心にならなくてはいけません。そのコツは、自分の口唱の声を自分の耳で聞くことに熱中することです。

⑤お看経中のお題目の声は皆で揃そろえること。一生懸命になると辺あたり構わず口唱して、声が他の人と揃そろわなくなる人がいます。唱える時は、お導師か周りの人の声に合わせるようにしましょう。

⑥今度は拍子木や太鼓です。「弄ろうじん引」というのが拍子木の役目であり打ち方のコツです。弄引の弄とはリズムに乗って楽しむこと、引とはその楽しさを引き出すことです。拍子木や太鼓のリズムに乗って皆が快く、一心に口唱

出来るよう調子をとります。ですから、お看経の時、太鼓を三挺拍子木を十挺も打つたら、人を随喜させるどころか肝心の口唱の声がかき消されてしまい、お看経はあがりません。

⑦そうすると、拍子木や太鼓の速さ、音色も大事になってきます。速すぎず遅すぎず、お題目をはつきり唱えられる速さを身につけましょう。拍子木は打ち所によって不快な音が出たり、心地よい音になつたりします。そのところを見つけて、お題目が心から逆ぼとぼしるように口をついて出るように、そしてその声が聞こえるように打ちましょう。太鼓は楽譜通りに打つこと、余

計などころは叩かない。大きい音や、メリハリの無い打ち方はよくない。そのためには、バチを振り回さず、バチの重さだけで叩くことです。

要は、「殊勝なお看経」が大事ということ。家族揃って殊勝なお看経をあげられるように心を配ることが大切です。開導聖人の御指南には、「お題目余計に上げる家、上げる人は、必ず万事都合よく不思議に家と身とに障りなし。これ経力なり」とお示しです。

普段から、歯切れよく楽しくお看経をあげられるように口唱の仕方や拍子木や太鼓の稽古をしましょう。そして、家中がいっつもご守護頂けるように口唱信行に励ませて頂きましょう。

9月のご奉公のすすめ

今年度の御奉公テーマ「助行」

今月は竜の口法難の月です。「法華経の行者は必ず現証利益をいただける」という強い信念をもって妙法を広めた日蓮聖人は私たちの信心修行のお手本で

す。報恩の思いでお助行を実践し、月一回は班内信者に声をかけ、お寺参詣・お講参詣の将引ご奉公に励みましょう。

第二座 11時30分～12時20分
第一地区・第三地区（西部連合）

今月の「随喜轉教」

応援祈願を家族や周囲の信者にすすめるご奉公は、今年の総誓願の一つ「人の幸せを祈る信者になります」の実践です。

そのためには、「今日も命を頂きありがとうございます」と口癖のように声に出し、自分自

身が応援祈願によって生きる喜びの手応えを感じていてこそ、心から人の幸せを祈る事が出来ます。随喜轉教は菩薩行の実践と心得て応援祈願を勧めあいましょう。

イベントは、ビデオでの如説修行抄第三段の解説です。第三段で、お祖師様は、仏の説いた教えならどれを信じても同じだ、という誤った考え方を否定し、真の如説修行の取り組み方を教えてくださっています。

お祖師様への報恩の思いを込めて、教区班内、家族そろってお参詣させて頂きましょう。

来月の「ご奉公のポイント」

一、高祖会

10月20日（日）に厳修されます。

第一座 10時～11時20分

第二地区・第三地区

（杉並連合、豊島連合）

二、赤い羽根共同募金

毎年10月に社会福祉活動の一環として、赤い羽根共同募金に協力させて頂いています。今年も引き続き赤い羽根共同募金に暖かいご協力をよろしくお願ひします。



昨年の大掃除の様子

高祖会前の大掃除を今年も実施いたします。

◆10月13日(日)9時～10時
◆担当 第一地区

◆担当 第一地区
昨年は全地区で大掃除を行いました。人数が多すぎたため、今回から三大会前に地区ごとにご奉公させていただきます。来年の門祖会前では第二地区、開導会前では第三地区のみなさん、よろしくお願ひします。

◆担当 第一地区

◆10月13日(日)9時～10時

高祖会前の大掃除を今年も実施いたします。

高祖会前の大掃除を今年も実施いたします。

きれいな本堂で高祖会をお迎えいたしましょう



高祖会

9月の寺内予定

日程	行事	時刻
1日～7日	開講本旨再興祈願朝参詣週間	
1日	日 開講本旨再興祈願総講	10時半
7日	土 運営会議	9時半
8日	日 竜の口御法難記念五時間口唱会	9時半
	秋季彼岸総回向ご回向・お塔婆・バス申込締切	
13日	金 高祖大士御命日総講	10時半
14日	土 連合幹事会	9時半
	後続者育成連絡会	10時半
17日	火 開導聖人御命日総講	10時半
20日～26日	秋季彼岸朝参詣週間	
23日	月(祝) 秋季彼岸総回向法要(妙應寺)	10時
	同上(六角堂)	12時半
25日	水 門祖聖人御命日総講	10時半
	正副教区長会 第一地区 2階ホール/第二地区 1階ホール/第三地区 和室	12時半

令和元年・夏のご奉公

夏季総回向・夏期参詣

長梅雨で雨天が心配された今年の夏季総回向でしたが、当日は御信者皆さんのご祈願により雨も降らず無事奉修することが出来ました。今年からより多くの御信者に六角堂参詣をして頂きたい気持ちから、参詣バス(定

員47名)を2台に増やしました。結果、合計乗車人数は61名と2台に増やしたことにより全員がバスでお参詣をすることが出来ました。それでもまだ座席には余裕があります。

9月の秋季彼岸もバスを2台

予約していますので、より多くの皆様が御参詣頂けるようお願いいたします。特に、六角堂にご先祖を安置されてますご信者は、家族皆さんで御参詣頂ければと思います。

尚、今年の夏季総回向参詣者数は、本堂が133名、六角堂は76名でした。



六角堂の花々
①カンゾウ②うらら
③バラ



一ヶ月にわたる夏期参詣が
終わりました。今年皆さん
のぬりえでお参詣者をお出迎
え。①1階ロビー、本堂前に
たくさんぬりえが張り出さ
れました。②7月2日には弘
通サロンで一緒に塗り絵をし
ました。

令和元年7月行事報告

1日～7日		開講本旨再興祈願 朝参詣週間
1日	月	夏期参詣開始 開講本旨再興祈願総講を午前10時30分より奉修
6日	土	運営会議を午前9時30分より開催
7日	日	夏季総回向ご回向・塔婆・バス申込締切
13日	土	高祖大士御命日総講を午前10時30分より奉修 連合幹事会を午後12時30分より開催 後継者育成連絡会を午後13時30分より開催
17日	水	開導聖人御命日総講を午前10時30分より奉修
21日	日	夏季総回向法要を午前10時より奉修
25日	木	門祖聖人御命日総講を午前10時30分より奉修 正副教区長会を午後12時30分より開催
28日	日	口唱会を午前9時30分より奉修 (第二地区・護法部) 若い人の口唱会を午前10時30分より奉修 男性信徒交流助行(聞信寺)午前11時より
31日	水	夏期参詣終了(御礼参詣)、夏期供養奉納
【六角堂行事】		
21日	日	夏季総回向法要を午後12時30分より奉修

後続者育成お助行と各地から

『未来への希望を』

杉並教区 井上京子

今月は、第三地区・西部連合口・練馬教区のTさん宅で後続者育成助行を開催させていただきました。沢山の応援参詣者がありました。

Tさんの長女のKさんは、お勤めをしております。毎日、お忙しく土日もお休みではないのですが、今日の為に特別にお休みを取って私達を迎えて下さいました。杉並の次世代のCさんとも親しくお話させて頂けて大変有意義でした。また、Kさんの息子さんのAさんも、今年から御有志をしてくださっており、席主のTさんの行届いた育



成ご奉公に感動いたしました。未来への希望を感じます。

本堂にて父の

33回忌をされる

妙証会 中村黎子

7/27^土妙証会富山のAさんはお父さんの年回を初めて本堂でされました。

二人の子供達は東京の大学に通っています。この4月から大学生となった弟のS君は、始めてお寺参詣され少し緊張気味でしたが、お講師の話をきちんと



聞いておりました。台風が接近して天候もどうなるか心配しましたが、とても気持ちの良いご回向でした。



夏期参詣

親会場の子どもたち

水戸教区 高橋幸子

導師の脇にちいさな子どもたちが座り大きな声で無始已来とお題目を唱えます。

導師役の私達はその声に引っぱられない様に必死に言上を。



少人数ですが皆さん真剣にご奉公に励んでいます。

水戸教区では、今年から、親会場に朝参詣されたお子さんにはジュースのご供養を用意しております。小さいころのご供養の思い出はいつまでも残っているもの。この思い出を大切にしたいですね。

広島教区の森本さん

妙証会 中村黎子

轉教7月号で紹介した、愛媛県伯方島にお住いのMさん。広島教区のAさんのお教化により佛立本旨講のご信心を進めておられます。

夏期参詣中にも、ご祈願、ご回向が多数寄せられています。新しい御信者さんが、私た

ちのご信心の基本を守っていただけの嬉しいことですね。

青森県にもご弘通の灯

佐藤応昇師

青森の地で一軒で頑張っているSさん一家のお戒壇開きのご奉公に行ってきました。

Yちゃん(5歳)、Aくん(3歳)も元気にお看経をしてくださいました。

神奈川からご両親(写真右列)もお参詣されました。



千葉中央教会 Kさん

去年より教区長のお役を頂き

ました。お役をお受けした時は何をどうしたら良いのか全く分からず、教区長らしい事が出来ず、皆さんに迷惑をかけてしまいました。本当に申し訳なく思っています。

私はホテルでハウスキーピングという部署で主に客室の清掃をしています。教区長をお受けするまでは、清掃チームをまとめるリーダーのもとで仕事をしていました。教区長をお受けしてからしばらくすると、リーダーが他の部署に異動となり、その後を私が引き継ぐ事になり

ました。

そして、ちょうどその頃会社では、外国人を社員として雇うようになりました。清掃スタッフに26名ほど入社してきました。スリランカ、ベトナム、ネパール、中国と国も様々です。

その外国人スタッフをまとめる様にと上司から言われました。言葉の違い、文化の違いでうまくコミュニケーションがとれず、私の言っていることを理解してもらえず、彼らにはかなり厳しく指導していましたが、それでも私の事を頼ってくれています。今では私の言っている事



を理解し、それに答えるような働きをしてくれ大変頼もしい存在で感謝しています。私も教区長としては、まだまだですが教区の皆さんに協力してもらい、色々と教わりながら、皆さんの力になれるよう頑張って行きたいと思えます。

生後二ヶ月の手術

大井大森教区 Wさん

先日は兄の孫Uちゃんの応援
祈願ありがとうございました。
お陰様で手術も成功し経過も良
好で、今はとても元気にしてい
るそうです。

生後二ヶ月での手術、全身麻
酔でしたので兄夫婦も、私たち
もとても心配でした。母と兄が
手術成功の御祈願を上げていた
ので、それを見たお導師お講師
がお寺で応援祈願しようとい
言って下さり、さっそくお寺の
詰め所に行き名前を入れていた
だき、手術当日の朝も大勢でお題
目を上げて頂きました。

その帰り道に、兄嫁に今朝

お寺でもUちゃんのお助行を
みなさんでしたから、きっと大
丈夫だよ、とメールを送りまし
た。すると兄嫁から返事が来て、
「ちようど今、無事に終わった
ところで、みなさんに宜しく伝
えてください。ありがとうございます
謝のメッセージでした。」

また、Uちゃんの手術がお看
経中だったこともありがたく思
いました。



その後、兄の家族は、お寺に
お礼参詣しました。詠ちゃんの
ことがなかったら、仕事に追わ
れて、なかなかお参りが出来な
い兄も、これを機にお寺に縁が
近づいて良かったと思います。
兄嫁も先日、六月の御講席に
参詣し無事養育成長の祈願を続
けることを約束してくれて嬉し
かったです。十月は、御講の席
主をお受けしてくれました。



男性信徒交流お助行 聞信寺

日時：令和元年7月28日(日) 11時半より

聞信寺男性信徒との初の交流

お助行を行いました。昨年9月の計画は台風の為中止となり、今回も直前に東海地方に台風が上陸してまたか・・・と心配しましたが、お計らいで出発当日の朝は晴天で無事御参詣すること

が出来ました。

これまで同志寺院の御信者さんとは団参では全くお話しする



梅雨の晴れ間の七月六日に、

Eさん家の長女、Rちゃんがお初参りをされました。四月二十四日生まれのRちゃんは色白で愛らしく、御宝前の前に座りあやすと笑ってくれました。

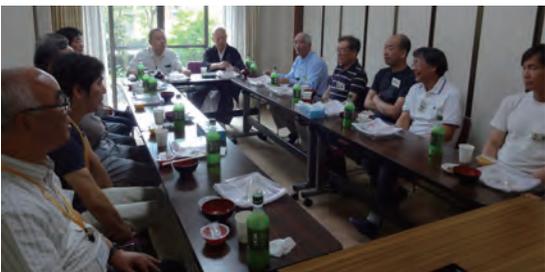
今回もおじいさんを含め親族一同が集まり、幸せて和やかなお看経が本堂にありました。

Eさん家では、これからも5人のお孫さん全員の無事養育の

機会はありませんでしたので、御供養を頂きながら交流できた事はとても貴重な経験でした。継続して今後も毎年実施していきたいと思えます。

かながわ北教区 Rちゃん

ご祈願をあげて、健やかな成長を見守っていかれるとの事です。



お助行に感謝

根緒泉溪師



現在お助行が実施されているのは、後続者の育成とか、

男性信徒助行、或は応援祈願の助行等がありますが、このご奉公に参加することによって、人の苦難を救い、自他ともに御信心の喜びを分かち合うことが出来ます。

或る御信者の家に嫁がれた方のお話ですが、この方が病の為に、随分難しい手術をしなければならぬ事になりました。

その当日教区の、かなりの人数の御信者が、それも30人ほどの参加があったそうですが、手術成功、病氣全快、

御奉公成就のお助行を頂きました。

手術は4時間ほど、かかったそうですが、終わるまで御看経が続いたそうで、お陰でむずかしい手術も無事に終わり、術後も順調に回復して、元気になつて退院できたそうです。

ご本人は、「こんなに自分の為に、祈つて下さると思わなかった、お陰で病氣も治り、元の生活に戻ることができて本当にうれしい、御信者の心配りとか、心にかけてくださっているという事を痛切に、感じる事ができました、

又、自分も今度は応援のお助行にも参加させて頂いているので、お役にたててありがたいです」と、喜びを語っておられました。

ですから、このように、人の不安や心配事に対して、お題目をお唱えして、相手の方を元気づける、励ましてゆくと云う事が、お助行の心からです、このご奉公を通じて御信心の喜びが、連合や教区、そして妙應寺一杯に広がってゆくよう、報恩ご奉公に励ませて頂きましょう。

★こどもたちの会★

「佛立本旨講の信心1」

<p>お題目が唱えられなくなっちゃったんだよ。</p>	<p>⑥ 朝転車突然音が出なくて、音が帯に</p> <p>たしかに、ちょっと難しいね。</p>	<p>ねえお兄さん、南〇～経①を「生きている仏様」と信じるって、すごく難しい事だね。</p>
<p>南〇～経</p>	<p>⑦ 声なしのお看経を一日中上げ続けただ。</p> <p>あるご信者さんの話なんですけど、末期ガンであと数ヶ月の命ですって言われたんだけど...</p>	<p>え～!!?? 数ヶ月～!!??</p>
<p>そしてついに声を取り戻したんだって!</p> <p>すごい!! 根性だネ!!</p>	<p>⑧ 死ぬまでお寺参詣をする覚悟を決めて、元気に参詣を続けたんだよ!!</p>	<p>すごい人がいるんだねー!!</p>
<p>御題目を唱えれば、必ずお護り頂けるといふ信念があったんだね。</p> <p>それが南〇～経を「生きている仏」と信じるという事なんだね。</p>	<p>⑨ なんと! 十年間もお寺参詣を続け</p>	<p>④ それかね、寿命が伸びるお計らいを頂いてー</p>
<p>そうだよ! 南〇～経を信じる事が、苦しみを乗り越える力を与えてくれたんだよ!</p> <p>よい僕たちも仏様を信じて、お看経を上げよう!!</p>	<p>⑩ そうだね。だけどその十年間は、大変な事は、ばかりだったんだよ。</p>	<p>⑤ そんな事、普通はありえないよね!!</p>

夏期参詣最終日のごあいさつ

一か月間ご苦労様でした。夏期参詣に際し、夏期供養および特志奉納頂きありがとうございます。ご奉公者の皆様には早朝よりご奉公誠にありがとうございました。夏期参詣が終わりますと後五ヶ月で一年が終わります。ご弘通ご奉公はお助行が大事とご指導頂いております。

各教区、各班隔々までお助行ご奉公させて頂きご弘通ご奉公に邁進させて頂きましよう。

山本久男 事務局長



轉教

令和元年9月1日発行 第20巻第9号 通算235号
編集兼発行人 山本久男
発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-6-11
TEL 03-5319-3490 FAX 03-5319-3491



<http://myooji.com>



info@myooji.com

題 字：水谷日尚上人

表紙絵：鈴木晴香（埼玉東教区） モデル：ビビちゃん
（水戸教区・郡司さん）